

令和6年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
国語	論理国語	3	人文系	必修	3
使用教科書 副教材等	「探求 論理国語」(桐原書店)・「近代文学四選」(桐原書店)				
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	論文を読む ベルリンの「内」と「外」 —「舞姫」を通じて 評論Ⅱ 身体と出現	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、小説を読み解く視点を広げる。 「舞姫」を読み、背景にある時代や文化の状況もふまえて作品を理解する。 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、自らを取り巻くものと身体の関係性について考えを深める。 他者の視点や立場を意識して、レポートを書く力を身に付ける。
二学期中 間考查まで	評論Ⅱ 市民社会化する家族	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、近代化・都市化によって生じた家族や人間の存在についての認識や考察を深める。 実社会で役立つ文章作成力を養成するとともに、実社会と自分の関わりを考える。
二学期末 考查まで	評論Ⅳ ポストモダンと排除社会	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、自らの文化や世界に対する見方を見つめ直し、現代をどう生きていくかについて考える。 他者の視点や立場を意識して、小論文を書く力を身に付ける。
学年末 考查まで	総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 現代文の実践的な読解方法を身に付ける。
評価方法	知識・技能…ノートへの書き込み、小テスト、ワークシート、定期考査 思考・判断・表現…授業への参加姿勢や態度、授業の発問への反応、ノートへの書き込み、ワークシート、定期考査 主体的に学習に取り組む態度…学習活動への参加姿勢や態度、ノートへの書き込み、課題の提出状況	

令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
国語	古典探究	3	英語系 人文系	必修	3
使用教科書 副教材等	高等学校 古典探究 (数研出版)				
学習目標	我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めるとともに、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	歴史物語 大鏡 南院の競射 思想 荘子 曳尾於塗中 和歌・歌謡・俳諧 古今和歌集仮名序 思想 老子 小国寡民 日記文学 蜻蛉日記 うつろひたる菊 史伝 荆軻 風蕭蕭として易水寒し 随筆 古本説話集 清少納言がこと	<ul style="list-style-type: none"> 書き手の考え・目的・意図を捉えて解釈を深める。 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 我が国の言語文化に対する考えを深める。 文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げ、深める。 作品に表れる考え方をふまえて考えを深めるとともに、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 複数の古典を読み比べ、共通点・相違点に着目しつつ、作品の成立背景や他作品との関係をふまえて考察する。
二学期中 間考查まで	物語 源氏物語 車争ひ 史伝 荆軻 凶窮まりてヒ首見る 日記文学 紫式部日記 同僚女房評	<ul style="list-style-type: none"> 古典の作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げ、深める。 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。
二学期末 考查まで	日記文学 和泉式部日記 薫る香に 漢詩 古体詩 飲酒	<ul style="list-style-type: none"> 作品に表れる考え方をふまえて考えを深めるとともに、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを深める。 複数の古典を読み比べ、共通点・相違点に着目しつつ、作品の成立背景や他作品との関係をふまえて考察させる。
学年末 考查まで	総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 古典の実践的な読解方法を身に付ける。
評価方法	知識・技能…ノートへの書き込み、小テスト、ワークシート、定期考查 思考・判断・表現…授業への参加姿勢や態度、授業の発問への反応、ノートへの書き込み、ワークシート、定期考查 主体的に学習に取り組む態度…学習活動への参加姿勢や態度、ノートへの書き込み、課題の提出状況	

令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
国語	文学講読	3	英語系・人文系	選択	2
使用教科書 副教材等	高校生のための近現代文学ベーシック ちくま小説入門 改訂版 (筑摩書房)				
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	第一部 小説への招待 第二部 第一章 郵便局で 第二章 ポチ 第三章 乞食王子	<ul style="list-style-type: none"> ・小説を読むうえでの基礎的な知識、読解のポイントについて学び、小説の魅力やその広がりについて考える。 ・ストーリーの中の不易流行を整理・分析し、郵便局で起こる事態がどのようなことを表すのか考える。 ・奇想天外な設定がもたらす解釈の豊かさを味わい、日常の不条理を考える。 ・パロディの面白さを味わいつつ、登場人物の意識の変化を通して作者の若者へのメッセージを考える。
二学期中 間考查まで	第二部 第三章 柳の木 第四章 狐憑 黒猫	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉のない描画の表現を通して、奥深いストーリーに触れる。 ・物語の舞台設定を押さえたうえで、登場人物の人物像の変化と周囲の見方を考える。 ・ホラー小説の原点とされる小説を読んで、恐怖を生み出す仕掛けの面白さを味わい、黒猫の関係性を考える。
一二期 末考查まで	第二部 第五章 四月のある晴れた朝 に100パーセント の女の子に出会うこと について 第一章 ボッコちゃん	<ul style="list-style-type: none"> ・読みやすい文体で書かれた細やかな情景描写が映し出す登場人物の心情を考え、深い意味を持つストーリーを味わう。 ・作者の独特の世界観を楽しんだうえで、創作（ショートショート）活動に挑戦する。
学年末 考查まで	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・進路にあった問題の演習をする。
評価 方法	知識・技能…ノートへの書き込み、小テスト、ワークシート、定期考查 思考・判断・表現…授業の発問への反応、ノートへの書き込み、ワークシート、定期考查 主体的に学習に取り組む態度…学習活動への参加姿勢や態度、ノートへの書き込み、課題の提出状況	

令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
地理歴史	地理探究	3	人文系	選択	4
使用教科書 副教材等	新詳地理探究（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院） 新詳地理資料 COMPLETE 2023（帝国書院）、23 サクシード地理（啓隆社）				
学習目標	グローバル化する現代において必要な基本的知識の定着を図り、身近な地域や世界の諸地域への興味関心を高める。また、地理的なものの見方・考え方を身に付ける。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信 2節 観光 3節 貿易と経済圏 第4章 人口、村落・都市 1節 人口・人口問題 2節 村落と都市 3節 都市・居住問題 第5章 生活文化、民族・宗教 1節 衣食住 2節 民族・宗教と民族問題 3節 国家の領域と領土問題	<ul style="list-style-type: none"> 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて考察する。 増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて、多面的・多角的に考察する。 村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について多面的・多角的に考察する。 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて考察する。
二学期 中間 考查まで	第2部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分 第2章 現代世界の諸地域 1節 中国 2節 韓国 3節 ASEAN諸国 4節 インド 5節 西アジアと中央アジア	<ul style="list-style-type: none"> 世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて考察する。 中国や韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。 古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。 近年急速に経済が成長しているインドについてや、西アジアと中央アジアについて、よりよい社会の実現を視野に地域の課題を主体的に考察する。
二学期末 考查まで	6節 アフリカ 7節 EU諸国 8節 ロシア 9節 アメリカ合衆国 10節 ラテンアメリカ 10節 オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> 北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を考察する。 ヨーロッパやロシアについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。 移民国家としての多様性を持ち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。 かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて考察する。 南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業の違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を考察する。
学年末 考查まで	第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 1節 将来の国土の在り方 2節 持続可能な日本の国土像の探究	<ul style="list-style-type: none"> 日本の強みをより生かせる将来について考え、持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組みばよいかについて考察する。 現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて考察する。
評価方法	【知識・技能】 定期考查・小テスト 【思考力・判断力・表現力】 定期考查・小テスト・課題の取組・発表内容 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の取組・グループワーク・ノート整理 以上の3観点から総合的に評価する。	

令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
地理歴史	日本史探究	3	英語系・人文系	選択	4
使用教科書 副教材等	日本史探究 詳説 日本史 (山川出版社) 図説 日本史通覧 (帝国書院) 日本史重要語句 Check List 2023 (啓隆社)				
学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長 第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開	① 南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 ② 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解する。 ③ 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察する。
二学期中 間考查まで	第10章 幕藩体制の動揺 第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開	① 幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容や近代化の基盤の形成を理解する。 ② 対外政策の変容と開国、幕藩体制の動揺と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解する。 ③ 立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。
二学期末 考查まで	第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦	① 産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解する。 ② 恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。
学年末 考查まで	第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本	① 我が国の再出発及びその後の政治・経済や 国民生活の変容を理解する。 ② 日本経済の発展、冷戦終結後の国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察する。
評価方法	【知識・技能】 定期考查・小テスト・発表内容 【思考力・判断力・表現力】 定期考查・小テスト・課題の取組・発表内容 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の取組・グループワーク・ノート整理 以上の3観点から総合的に評価する。	

令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
地理歴史	世界史探究	3	英語系・人文系	選択	4
使用教科書 副教材等	世界史探究 詳説 世界史 (山川出版社) ニューステージ世界史詳欄 (浜島書店) 授業用詳説世界史整理ノート (山川出版社) 世界史 重要語句 Check List 2024 (啓隆社) 要点整理 ゼミナール世界史 (浜島書店)				
学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解させ、文化の多様性を広い視野から考察させることによって、歴史への興味・関心を高め、歴史的思考力を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期 末 考 査 ま で	第8章 東アジア世界の展開と モンゴル帝国	・10世紀前半に東アジアで政権交替の背景や、成立した諸国の共通点を把握し、モンゴル帝国時代の東西交流の新しさを多面的・多角的に考察する。
	第9章 大交易・大交流の時代	・ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していった動機や背景を多面的・多角的に考察し表現する。
	第10章 アジア諸帝国の繁栄	・オスマン帝国の基礎が築かれた経緯と勢力拡大の経緯を理解する。また、サファヴィー朝の支配がイラン社会に与えた影響について理解する。
	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	・主権国家体制の成立の経緯と16世紀後半のスペイン・イギリス・フランスの関係を理解する。
	第12章 産業革命と環大西洋革命	・16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係について理解する。また、アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。
二 学 期 中 間 考 査 ま で	第13章 イギリスの優位と欧米国民 国家の形成	・19世紀後半におけるロシア・イギリス・フランスの諸改革の相違点を理解する。
	第14章 アジア諸地域の動揺	・オスマン帝国の列強への経済的な従属化の経緯を理解する。
	第15章 帝国主義とアジアの民族 運動	・中国の開港の背景および開港の進展の経緯を理解する。 ・20世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を多面的・多角的に考察し表現する。
二 学 期 末 考 査 ま で	第16章 第一次世界大戦と世界の 変容	・歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を多面的・多角的に考察する。
	第17章 第二次世界大戦と新しい 国際秩序の形成	・世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・第二次世界大戦の終戦までの経緯を理解する。
	第18章 冷戦と第三世界の台頭	・冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのかを理解する。
学 年 末 考 査 ま で	第19章 冷戦の終結と今日の世界	・1970年代初頭に世界経済がいかなる転換を迎えたのかを理解する。 ・東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。 ・今日の国際関係の特徴と、必要とされている協力の内容を多面的・多角的に考察する。
評 価 方 法	【知識・技能】 定期考査・小テスト 【思考力・判断力・表現力】 定期考査・小テスト・課題の取組 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の取組・グループワーク 以上の3観点から総合的に評価する。	

令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
地理歴史	地理研究	3	人文系	選択	2
使用教科書 ・副教材等	自校教材（本校地理歴史科） 新詳地理資料 COMPLETE 2023（帝国書院）、23 サクシード地理（啓隆社）				
学習目標	グローバル化する現代において必要な基本的知識の定着を図り、身近な地域や世界の諸地域への興味関心を高める。また、地理的なものの見方・考え方を身に付ける。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考查まで	現代世界の系統地理的考察 資源と産業 農林水産業 資源・エネルギー 工業 交通・通信と観光 交通・通信 観光 貿易	<ul style="list-style-type: none"> 世界の農林水産業について、自然条件や社会条件と関連づけて捉えるとともに、現代世界の農林水産業の現状と課題を考察する。 資源・エネルギー問題について、世界と日本の資源・エネルギー問題を大観し、問題の原因や近年の動向、問題解決の取組を考察する。また、日本が抱える資源・エネルギー問題を考察する。 世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、課題を考察する。また、日本の工業の特徴と課題を考察する。 交通・通信について、交通機関の種類や特徴をとらえる。 観光業について、その特徴や利点をしり、課題を考察する。 現代世界の貿易と経済圏について、進展する国際分業の現状と課題、貿易の自由化と経済連携の動向を考察する。
二学期中間 考查まで	人口、村落・都市 人口 村落と都市 生活文化、民族・宗教 衣食住 民族・宗教 国家の領域と領土問題	<ul style="list-style-type: none"> 増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて、多面的・多角的に考察する。 村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について多面的・多角的に考察する。 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて考察する。
一学期期末 考查まで	現代世界の地誌的考察 現代世界の諸地域 アジア地域 アフリカ地域 ヨーロッパ地域	<ul style="list-style-type: none"> 中国や韓国、ASEAN諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。 北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を考察する。 ヨーロッパやロシアについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。
学年末 考查まで	アメリカ地域 オセアニア地域	<ul style="list-style-type: none"> 移民国家としての多様性をもち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国や、ヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。 南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を考察する。
評価方法	<p>【知識・技能】 定期考查・小テスト</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 定期考查・小テスト・課題の取組・発表内容</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題の取組・グループワーク・ノート整理</p> <p>以上の3観点から総合的に評価する。</p>	

令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
地理歴史	日本史研究	3	英語系・人文系	選択	2
使用教科書 副教材等	自校教材（本校地理歴史科）				
学習目標	世界の中の日本を意識し、日本史の技能や知識を学習して身に付けさせるとともに日本史への興味・関心を喚起し、日本史研究に取り組む姿勢を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	原始・古代 ・旧石器・縄文・弥生時代の概要 ・古墳時代の概要 ・奈良時代の概要 ・平安時代の概要	・年表から当該時代を把握し、図表の活用に関する技能を養い、歴史の流れを読みとる。 ・外交史や諸外国の影響が具現化した文化史を連続して学習することにより、東アジアの中の日本を意識する。 ・正確な知識を身に付ける。
二学期中 間考查まで	中世 ・鎌倉時代の概要 ・室町・安土桃山時代の概要 近世 ・江戸時代の概要	・年表から当該時代を把握し、図表の活用に関する技能を養い、歴史の流れを読みとる。 ・外交史や諸外国の影響が具現化した文化史を連続して学習することにより、東アジアの中の日本を意識する。 ・正確な知識を身に付ける。
二学期末 考查まで	近代・現代 ・明治時代の概要 ・大正時代の概要	・年表から当該時代の概要を把握し、図表の活用に関する技能を養い、理解を深める。 ・教科書でテーマや項目ごとに学習した内容を、内閣を中心に再編集し、事件や事象等から時代背景を理解して、内閣の特徴や歴史上の必然性を考察するとともに、知識の定着を図り、歴史への興味関心を育む。 ・歴史の因果関係が捉えやすいテーマを選び、一連の歴史の流れを意識する。
学年末 考查まで	・昭和時代の概要 ・戦後の概要	・年表から当該時代の概要を把握し、図表の活用に関する技能を養い、理解を深める。 ・教科書でテーマや項目ごとに学習した内容を、内閣を中心に再編集し、事件や事象等から時代背景を理解して、内閣の特徴や歴史上の必然性を考察するとともに、知識の定着を図り、歴史への興味関心を育む。 ・歴史の因果関係が捉えやすいテーマを選び、一連の歴史の流れを意識する。
評価 方法	【知識・技能】 定期考查・小テスト 【思考力・判断力・表現力】 定期考查・小テスト・課題の取組・発表内容 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の取組・グループワーク・ノート整理 以上の3観点から総合的に評価する。	

令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
地理歴史	世界史研究	3	英語系・人文系	選択	2
使用教科書 副教材等	自校教材(本校地理歴史科) ニューステージ世界史詳欄 (浜島書店) ポイントレクチャー テーマ別世界史(山川出版社) 世界史 重要語句 Check List 2024 (啓隆社) 要点整理 ゼミナール世界史 (浜島書店)				
学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解させ、文化の多様性を広い視野から考察させることによって、歴史への興味・関心を高め、歴史的思考力を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期 期末 考查 まで	東アジア史	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジアでは、気候の異なる地域が混在していたことを理解し、それぞれの気候が各地の生業などに与えた影響を考察する。 ・中国の各王朝の支配形態の変遷を比較し、共通点と相違点を理解する。また、中国の社会において、仏教や道教が力を持つようになった要因や背景を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・中国の王朝の勢力圏の広がりやその制度や文化が近隣諸国に与えた影響について理解する。
二学期 中間 考查 まで	イスラーム史	<ul style="list-style-type: none"> ・ウマイヤ朝の領域的な広がりやアッバース朝成立の背景とその支配の特徴を理解する。 ・イスラーム政権の多極化が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・南アジアにおいてイスラーム教が受け入れられていった経緯を理解する。 ・東南アジアにおいてイスラーム化が進んだ背景について考察する。 ・アフリカにおいてイスラーム化が進んだ要因を考察する。
二学期 期末 考查 まで	南アジア・東南アジア史	<ul style="list-style-type: none"> ・グプタ朝における宗教や文化の展開を理解する。 ・ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察する。 ・東南アジアの風土について他のアジアや日本と比較したうえで理解する。 ・東南アジアにおける国家形成の特徴を多面的・多角的に考察する。
学年 末 考查 まで	古代アメリカ・アフリカ史	<ul style="list-style-type: none"> ・北米と中南米の先住民社会を比較し、共通点と相違点を理解する。 ・中南米にさまざまな先住民文明が栄えたことを理解し、そこでの支配の在り方を多面的・多角的に考察し表現する。 ・イスラーム布教以前のアフリカについて、各地域の特徴について理解する。
評価 方法	【知識・技能】 定期考查・小テスト 【思考力・判断力・表現力】 定期考查・小テスト・課題の取組 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の取組・グループワーク 以上の3観点から総合的に評価する。	

令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
公民	政治・経済	3	英語系 人文系	選択	3
使用教科書 副教材等	高等学校 改訂版 政治・経済 (第一学習社) 最新図説 政経 (浜島書店)、ニューコンパスノート政治・経済2024 (とうほう)				
学習目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期末 考查まで	第1編 現代の日本の政治・経済の諸原理 第1章 現代日本の政治・経済 第1節 日本国憲法と現代政治のあり方 第2節 望ましい政治のあり方と主権者についての政治参加のあり方 第3節 市場経済の機能と限界	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治への道のり、法と民主政治、基本的人権の確立、世界のおもな政治体制について理解する。日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解する。「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し日本における役割を考察する。 国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立性の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利、また課題について理解する。 経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融および財政のしくみと機能について理解し、考察する。
二学期 中間 考查まで	第4節 持続可能な財政および租税のあり方 第5節 金融を通じた経済活動の活性化 第6節 経済活動と福祉の向上 第2章 現代日本の諸課題の研究 第2編 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際経済・経済 第1節 国際法の果たす役割	<ul style="list-style-type: none"> 日本の財政の課題を抱える課題や、持続可能な財政および租税のあり方について考察する。また、金融の役割や、金融政策の手段について理解する。 公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解、考察する。 国際社会の成立と主権国家、国際社会の秩序維持と国際法、国際連盟、国際連合の役割と課題について理解する。国際社会のさまざまな主体やルールに着目して、国際社会における利害調整や紛争解決がどのように行われているか考察する。 第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本、地域主義の動き、軍縮の動向と課題、地域紛争と難民問題、国際社会における日本の役割について理解する。
二学期 末 考查まで	第2節 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質	<ul style="list-style-type: none"> 日本の外交や安全保障が直面している課題や、今日の国際社会において日本に求められている役割について理解、考察する。 自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国際収支のしくみ、戦後国際経済体制の展開、南北問題や南南問題について理解する。貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいか考察する。
学年 末 考查まで	第4節 国際経済において求められる日本の役割 第2章 国際社会の諸課題の研究	グローバル化する世界経済や、地球環境問題、資源・エネルギー問題、貧困問題などの主要な地球的課題について理解する。
評価 方法	【知識・技能】 定期考查 【思考・判断・表現】 定期考查 課題の取組 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度 課題の取組	

令和6年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
数 学	数 学 C	3	英語系 人文系	選 択	2
使用教科書 副教材等	高等学校 数学C (数研出版)				
学習目標	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	第1章 平面上のベクトル 第2節 ベクトルと平面図形 第2章 空間のベクトル 空間のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> 位置ベクトルについて理解し、位置ベクトルを図形の性質を調べるのに活用できるようにする。また、ベクトルを用いて図形を表せることを理解し、基本的な図形のベクトル方程式を求めたり、ベクトル方程式が表す図形を求めたりできるようにする。 平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。また、それに関連して、座標空間における点や図形について考察できるようにする。
二学期中 間考查まで	第2章 空間のベクトル 空間のベクトル 復習、応用問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。また、それに関連して、座標空間における点や図形について考察できるようにする。 既習事項の復習を行い、入試問題等を利用して、応用問題を解く力を培う。
一学期末 考查まで	復習、応用問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の復習を行い、入試問題等を利用して、応用問題を解く力を培う。
学年末 考查まで	総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 入試問題等を利用して問題演習を行い、既習事項の定着を図る。
評価 方法	<p>【知識・技能】 授業・課題・単元テスト・定期考査等で判断する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 授業中の解答状況や発表、課題、定期考査等で判断する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況、授業態度、授業中の発表、提出物等の状況等で判断する。</p>	

令和6年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
数 学	数学探究B	3	人文系	選 択	3
使用教科書 副教材等	数学探究プリント				
学習目標	数学的技能や知識を学習し、身につけさせるとともに数学への興味関心を喚起し、数学研究に取り組む姿勢を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期 期末 考査 まで	式と証明・複素数と方程式 図形と方程式 三角関数 指数関数・対数関数 微分法と積分法	<ul style="list-style-type: none"> 整式及び分数式の四則計算について理解できるようにするとともに、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 高次方程式について考える技能を養う。 図形を解析幾何学的方法で扱えるようにし、軌跡の考え方を理解する。 いろいろな関数について、その特徴を理解し、応用力をつける。 微分法と積分法の間関係を理解し、グラフ、面積、体積に利用する技能を養う。
二学期 中間 考査 まで	数列 統計的な推測 数と式 2次関数 図形と計量 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> 数列について理解し、様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。 統計の見方や考え方を理解し、応用力を身につける。 いろいろな計算の技能を養い、応用できるようにする。 最大・最小について理解し、2次方程式や2次不等式を活用する技能を養う。 三角比のいろいろな公式を用いて、値を求める技能を養う。 データを整理・分析し、傾向を把握するための基礎的な知識や技能を身に付ける。
二学期 期末 考査 まで	場合の数と確率 図形の性質 復習、応用問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 個数の処理や確率の考え方を理解し、応用力を身に付ける。 図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 既習事項の復習を行い、入試問題等を利用して、応用問題を解く力を培う。
学年 末 考査 まで	復習、応用問題演習 総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の復習を行い、入試問題等を利用して、応用問題を解く力を培う。 入試問題等を利用して問題演習を行い、既習事項の定着を図る。
評価 方法	<p>【知識・技能】授業・課題・単元テスト・定期考査等で判断する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】授業中の解答状況や発表、課題、定期考査等で判断する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】出席状況、授業態度、授業中の発表、提出物等の状況等で判断する。</p>	

令和6年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
理 科	化学研究	3 年	人文系 医療看護系	選 択	2
使用教科書 ・副教材等	自作プリント 2022 セミナー化学基礎 (第一学習社)				
学習目標	自然現象や身近な生活の中で利用されている物質の化学的な性質を学び、化学的な概念や原則についての理解を深めるための演習を行う。また、受験に向けての実戦力を高める。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 考査まで	I 章 物質の変化 1 物質と化学反応式 (1) 原子量・分子量・式量 (2) 化学反応式 2 酸と塩基の反応 (1) 酸・塩基・中和 (2) 水の電離とpH 3 酸化還元反応 (1) 酸化還元反応 (2) 酸化数 (3) 酸化剤と還元剤	<ul style="list-style-type: none"> 物質の量的な表し方について理解する。 化学反応により起こる量的な変化について理解する。 酸と塩基の性質とその反応の仕組みを理解する。 pHが酸・塩基の度合いを表すものであることを理解する。 酸化還元反応の仕組みを理解する。 酸化数の考え方を理解する。 代表的な酸化剤と還元剤について、その反応について理解する。
二学期中間 考査まで	II 章 物質の構成 1 化学と人間生活 (1) 元素・単体・化合物 (2) 物質の状態 2 物質の構成 (1) 原子の構造 (2) イオンの生成 (3) 周期表 (4) イオン結合 (5) 共有結合 (6) 金属結合	<ul style="list-style-type: none"> 物質の性質を調べるために、物質の分類や分離・精製法、物質の状態変化について理解する。 熱による物質の状態変化について理解する。 物質は原子、分子、イオンが集まってできていることと、原子の構造を理解する。 イオンの性質とその生成の仕組みを理解する。 周期律と周期表、元素の性質について理解する。 さまざまな化学結合について理解する。
一学期期末 考査まで	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 受験に対応した基本的な問題を網羅し、化学基礎レベルの知識・理解を整理する。 共通テスト試験化学基礎の問題を解き、受験における実戦力を高める。
学年末 考査まで	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 大学個別試験に対応できる実戦力を身に付ける。
評価 方法	【知識・技能】 小テスト、定期考査、ノートの記述、観察・実験の態度、実験プリントの記述で評価 【思考・判断・表現】 授業発表、観察・実験の態度、ノートの記述、定期考査等で評価 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠状況、授業態度、授業発表、ノート等の整理状況で評価	

令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
理科	生物研究	3年	英語系・人文系・医療看護系	選択	2
使用教科書 副教材等	高等学校 生物基礎（第一学習社）、新コンセプトノート生物基礎（浜島書店）、改訂版 リードα生物基礎（数研出版）				
学習目標	既習の生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	第1編 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とその働き 第2編 ヒトのからだの調節 第3章 ヒトのからだの調節 第1節 情報の伝達と体内環境の維持	<ul style="list-style-type: none"> 生物に共通してみられる特徴や、生物にそのような特徴がみられる理由について観察や資料などから見いだして理解する。 ATPという物質が、代謝でエネルギーが出入りする際の仲立ちをしていることを理解する。 DNAの構造は、遺伝情報を保持し複製するのに適していることを理解する。 DNAの遺伝情報にもとづいて、タンパク質が合成される過程を理解する。 体内環境をほぼ一定に保ち、からだの状態を安定に維持するために、内分泌系と自律神経系が働いていることを理解する。また、それらの働きの違いを理解するとともに、これらが協調して働いていることを理解する。
一学期中 間考查まで	第2節 免疫 第3編 生物の多様性と生態系 第4章 植生と遷移 第5章 生態系とその保全	<ul style="list-style-type: none"> ヒトには病原体からからだを守るしくみとして、病原体の侵入を防ぐしくみや、侵入した病原体を白血球によって排除するしくみが備わっていることを理解する。さらに、自然免疫と獲得免疫のそれぞれのしくみについて理解する。 地球上のそれぞれの地域にはさまざまな環境の違いがあり、その環境に適応した生物が生活している。それぞれの地域で環境に応じて植生は移り変わり、分布に違いが生じることを理解する。 生態系を構成する非生物的環境と生物はどのように関わっているのか。生物どうしはどのようなつながりをもって生活しているのか。また、人間活動が生態系にどのような影響を及ぼしているのかを理解する。
二学期末 考查まで	共通テスト過去問題、入試問題 演習	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な演習問題を通して、広い知識や科学的な考え方を身に付ける。
学年末 考查まで	共通テスト過去問題、入試問題 演習	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な演習問題を通して、広い知識や科学的な考え方を身に付ける。
評価方法	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	小テスト、定期考査等で評価する。 定期考査、実験ノート等の内容で評価する。 授業態度及び発表、実験ノート・提出物等の内容で評価する。

令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
理科	地学研究	3年	英語系・人文系	選択	2
使用教科書 副教材等	理科学習資料 探究（愛媛県高等学校教育研究会理科部会）				
学習目標	既習の地学現象について、発展的な学習や愛媛県内の地質や資源、環境問題について学びを深め、それにより生まれる洞察力から未来を予測し変化への対応を考える力を養う。また、過去の地学実験の事例研究や問題演習を通して科学的な考え方や態度を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	第1章 愛媛の自然 第1節 地形と地質	<ul style="list-style-type: none"> 日本列島の成り立ちと四国の地質の特徴を総合的に捉え、中央構造線やプレート運動について理解を深める。 地球内部のはたらきによってもたらされた愛媛の地下資源や自然遺産（地層・岩石・地形・火山など）について理解を深め、地球環境と人間生活との関わりについて考察する。
二学期中 間考查まで	第2節 気候 第2章 身の回りの科学 第1節 愛媛の産業と科学	<ul style="list-style-type: none"> 愛媛県内の気候の特徴や気象災害について理解を深める。 大地は、かつて土砂災害や洪水などの自然現象により形成されたものであることを認識するとともに、住んでいる土地の成り立ちに関心を持ち、日頃から災害に対する心構えを養う。 エネルギー資源や鉱物資源など、自然から受けている恩恵について理解し、その有効活用に努める意識を養う。
二学期末 考查まで	第3章 環境問題の学習 第4章 観察・実験と研究 探究活動の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 大気や水質、土壌の汚染について、その現状と影響を学び、その課題解決に向けて、社会全体や個人でどのような取組が必要なのかを見通しを持って科学的に考察し、実践する力を養う。 広い自然現象を対象に自然科学に関する問題提起・仮説・検証・整理の過程を踏むことの重要性を理解する。
学年末 考查まで	総合演習	<ul style="list-style-type: none"> 総合演習問題を通して、広い知識や科学的な考え方を身に付ける。
評価方法	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	定期考查、小テスト等で評価する。 定期考查、実習のレポート等で評価する。 出欠状況、授業態度、課題の取組（実習レポートを含む）等で評価する。

令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
保健体育	体育	3	英語系・人文系 医療看護系・ 理数系	必修	2
使用教科書 ・副教材等	現代高等保健体育（大修館書店）				
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考查まで	<p>体づくり運動</p> <p>球技Ⅰ（下記の種目から1種目を選択） 「ハンドボール」 「サッカー」 「バスケットボール」 「テニス」 「バドミントン」「卓球」 「バレーボール」「ソフトボール」</p> <p>体育理論 「豊かなスポーツライフの設計Ⅰ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中央高校体操、体ほぐしの運動などを通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素などを理解できるようにする。 ゴール型、ネット型、ベースボール型、それぞれの種目の特性を理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする
一学期中間 考查まで	<p>ダンス 「日本の民謡（ソーラン節）」</p> <p>球技Ⅱ（下記の種目から1種目を選択） 「ハンドボール」 「サッカー」 「バスケットボール」 「テニス」 「バドミントン」「卓球」 「バレーボール」「ソフトボール」</p> <p>体育理論 「豊かなスポーツライフの設計Ⅱ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 躍動的な動きや手振り、腰を落とした動きなどの特徴をとらえて、音楽に合わせて踊ることができるようにする。 ゴール型、ネット型、ベースボール型、それぞれの種目の特性を理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。
学年末 考查まで	<p>球技Ⅱ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ゴール型、ネット型、ベースボール型、それぞれの種目の特性を理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。
評価方法	<p>【知識・技能】行動観察（運動の特性やルールなどの理解）、スキルテストやペーパーテストなどで評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】授業中の発表、行動観察、ワークシートの記述内容などで評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】出欠状況、授業態度、授業中の発表などで評価する。</p>	

令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
芸術	音楽Ⅲ	3	人文系	選択	4
使用教科書 ・副教材等	Joy of MUSIC (教育芸術社)				
学習目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考査まで	器楽 ・ソルフェージュ ・Clap-Pat-tap 歌唱 ・《20のソルフェージュ》から第10番 ・発声のためのエチュード 器楽 ・アイネ・クライネ・ナハトムジーク	<ul style="list-style-type: none"> 曲の特徴を生かした表現ができるよう試行錯誤したり意見を交換したりしながら個性豊かに器楽表現をする。 歌唱に関する技能を高めたり応用したりしながら、表現意図を歌唱で表すことのできる技能を身に付ける。 楽器に関する技能を高めたり応用したりしながら、表現意図を器楽で表すことのできる技能を身に付ける。
二学期中間 考査まで	<ul style="list-style-type: none"> なき王女のためのパヴァーヌ 鑑賞 〈西洋音楽の流れ〉 ・グレゴリオ聖歌 ・「王宮の花火の音楽」 ・オラトリオ《メサイヤ》	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、音楽のよさや美しさを深く味わう。 西洋音楽の楽曲に使用される用語や記号を理解し、楽曲を表現するための知識を身につける。
二学期期末 考査まで	<ul style="list-style-type: none"> オラトリオ《天地創造》 オペラ《魔笛》 交響曲第7番《未完成》 連作歌曲集《冬の旅》 	
学年末 考査まで	<ul style="list-style-type: none"> ポロネーズ《英雄》 エチュード《革命》 オペラ《カルメン》 管弦楽曲《海》 	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の文化的・歴史的背景や作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞する力を養う。
評価方法	【知識・技能】 発言やワークシート等の記述内容、練習中や発表中の観察 【思考・判断・表現】 発言やワークシート等の記述内容、発表時の観察 【主体的に学習に取り組む態度】 発言やワークシート等の記述内容、活動への取り組み	

学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
外国語	英語コミュニケーションⅢ	3	英語系・人文系・ 医療看護系・理数系	必修	4
使用教科書 ・副教材等	BIG DIPPER English CommunicationⅢ (数研出版)				
学習目標	英語によるコミュニケーションにおいて、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの統合的な言語活動を通して、情報や考えを理解したり表現したり、伝え合ったりする資質や能力を高める。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考查まで	Section I Lesson1 is the Meat Real of Fake? Lesson2 Let's Have a Healthy Lesson3 My Opinion of Zoos Lesson4 The History of Ekiben Lesson5 Three Tips for Maintaining a Conversation Lesson6 The History of Recorded Music Lesson7 Online Word-of-Mouth Lesson8 After the Flowers Lesson9 Hot Springs at Home and Abroad Lesson10 Kintsugi Lesson11 Art on Display Lesson12 Can You Manage Your Anger? Lesson13 Crowdfunding Lesson14 A New Orchestra and a New Harmony	<ul style="list-style-type: none"> ・代替肉が注目される理由や今後の課題について、英文から読み取る。 ・筋力トレーニングの効果や注意点についての英文から、語彙を学ぶ。 ・動物園の存在に対する賛成・反対の意見について、英文から読み取る。 ・駅弁の歴史などについての英文から、語彙を学ぶ。 ・会話を続けるコツなどについて、英文から読み取る。 ・記録音楽の歴史などについての英文から、語彙を学ぶ。 ・飲食店に対する口コミ評価などについて、英文から読み取る。 ・植物の生存戦略などについての英文から、語彙を学ぶ。 ・日本と海外の温泉地の違いなどについて、英文から読み取る。 ・日本の伝統技術「金継ぎ」についての英文から、語彙を学ぶ。 ・博物館の営業管内リーフレットについて、英文から読み取る。 ・怒りの感情をコントロールする方法についての英文から語彙を学ぶ。 ・クラウドファンディングの利点・欠点について、英文から読み取る。 ・パラグアイの新しいオーケストラについての英文から、語彙を学ぶ。
二学期中間 考查まで	Section II Lesson15 Instant Replay in Sports Lesson16 Endangered Languages Lesson17 Is This the Right Way to Protect the Environment? Lesson18 The Shoe That Grows	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツのビデオ判定システムについて、英文から読み取る。 ・危機言語のおかれた状況についての英文から、語彙を学ぶ。 ・環境を守るためのさまざまな試みについて、英文から読み取る。 ・アフリカの教育事情や「成長する靴」についての英文から、語彙を学ぶ。
二学期期末 考查まで	Section II Lesson19 Fake News Lesson20 Human Society and Infectious Diseases Section III Lesson21 Having a Discussion Lesson22 Writing a Summary 1	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイクニュースの特徴とそれが生まれる要因について、英文から読み取る。 ・人間社会の発展と感染症の関係についての英文から、語彙を学ぶ。 ・顔認証技術について、英文から読み取る。 ・ハリエット・タブマンの生涯についての英文から語彙を学ぶ。
学年末 考查まで	Lesson23 Question-and-Answer Session Lesson24 Writing a Summary 2	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地震災害と防災について、英文から読み取る。 ・「永遠に生きる方法」についての英文から、語彙を学ぶ。
評価方法	【知識及び技能】 授業中の発表・ペアワーク・小テスト・定期考査・パフォーマンステストで評価する。 【思考力・判断力・表現力等】 授業中の発表・ペアワーク・小テスト・定期考査・パフォーマンステストで評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度・授業中の発表・ペアワーク・課題の提出状況で評価する。	

学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
外国語	論理・表現Ⅲ	3	英語系・人文系・ 医療看護系・理数系	必修	2
使用教科書 ・副教材等	APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION III (開隆堂) Next Stage 英文法・語法問題 (桐原書店)				
学習目標	「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」及び「書くこと」を中心とした発信能力を強化する。より多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち、意見、主張などを論理の構成や展開を工夫して、伝えるまたは伝え合うことができる。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考查まで	Lesson 1 What Are You Going to Do during the Golden Week Holidays? Lesson 2 What Do You Want to Do in the Future? Lesson 3 Suggest a New Style of Traveling Lesson 4 Communicating Your Requests Lesson 5 Thank You for Your Support Lesson 6 How to Complain Politely	<ul style="list-style-type: none"> ・予定/意図/確信/希望・願望を表す表現を学ぶ。 ・ゴールデンウィークの計画について紹介する。 ・好き・嫌い/得意・不得意/個人的感想を表す表現を学ぶ。 ・将来就きたい職業とその理由や重視するポイントについて紹介する。 ・提案・助言/必要性・義務/勧誘/受諾・辞退を表す表現を学ぶ。 ・エコツーリズムの必要性や具体的方法などについて、ペアやグループで話し合う。 ・依頼/要請/許可を表す表現を学ぶ。 ・プレゼンテーション大会に関する要望などについてEメールを作成する。 ・感謝/祝福・喜び/同情/心配・懸念を表す表現を学ぶ。 ・感謝や祝福などの気持ちについて手紙で伝える。 ・苦情/謝罪/譲歩を表す表現を学ぶ。 ・自分が置かれている状況や要望について伝える。
二学期中間 考查まで	Lesson 7 My Specialty Lesson 8 My Special People and Places	<ul style="list-style-type: none"> ・時間的順序/空間的配列・方向/数量(比較)/方法・様態を表す表現を学ぶ。 ・自分が得意な料理のレシピを発表する。 ・人物や事物に関する描写・説明を表す表現を学ぶ。 ・自分が行きたい国などについて理由を挙げながら発表する。
一二期期末 考查まで	Lesson 9 Paragraph Writing Lesson 10 Presentation	<ul style="list-style-type: none"> ・パラグラフの構造や特徴の理解をもとに、共働きの家庭について、順序立ててパラグラフを書く。 ・自分の考えを、プレゼンテーションで使用するスライドにまとめる方法の理解をもとに、SNSについての的確に説明する。
学年末 考查まで	Lesson 11 Discussion Lesson 12 Debate	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッションで使用する表現の用法の理解をもとに、介護ロボットについての自分の考えをまとめ、発表する。 ・ディベートで使用する表現の用法の理解をもとに、賛成派あるいは反対派の立場からガソリン車の生産停止についてディベートをする。
評価 規準	<p>【知識・技能】 小テスト、定期考查等で評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 発表、小テスト、定期考查、提出課題で評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 出欠状況、授業態度、発表(スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション)、提出課題、ノートの整理で評価する。</p>	

学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
英 語	時事英語	3	人文系	選 択	3
使用教科書 ・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で読んで考える時事×SDGs Cross Bridge (文英堂) ・Essential Exercises of English Grammar and Usage 最重要文法語法必修ファイル (エスト出版) 				
学習目標	<p>SDGsを主題としたニュース記事を元に、現代社会で起こっている問題を論じる際に用いられる英語を理解するとともに、それを活用する能力を養う。また広い視野から国際理解を深め、持続可能な社会を築く一員としての自覚を高める。</p>				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 考査まで	Unit 1 資源・環境	・プラスチックごみに関する条約、容器の再利用事業、傘のシェアリングサービスに関する記事を読み、プラスチックごみ問題について考える。
	Unit 2 共生	・ハイヒール反対運動、障がい者の障壁除去、パッケージデザインに関する記事を読み、誰もがストレスなく生きられる社会の在り方について考える。
	Unit 3 飢餓・食糧問題	・深刻な食糧不足、食品ロス削減、食品ロスのアプリ開発に関する記事を読み、食材の有効利用について考える。
二学期中間 考査まで	Unit 4 医療・福祉	・コロナのパンデミック、アジアの蚊によるマラリアの蔓延、日本の蚊帳が果たす役割に関する記事を読み、対策方法を考える。
	Unit 5 教育	・教育を受けられない子どもたち、アフガニスタンにカバンを送る事業、世界に広がる音楽教育に関する記事を読み、教育の意義とその重要性について考える。
	Unit 6 衛生環境	・水設備とコロナ感染リスクの関連、トイレのない国々の現状、画期的なトイレによる環境改善に関する記事を読み、衛生環境改善の重要性について考える。
二学期期末 考査まで	Unit 7 産業・技術	・ドローンによる配達計画、スーパーコンピューター、ロボットとの協働についての記事を読み、技術の発展によって広がる可能性について考える。
	Unit 8 雇用・経済成長	・男女格差の解消の重要性、新型コロナが農業に与えた影響、コーヒー生産者の安定した収入についての記事を読み、雇用と経済成長の関連性を考える。
学年末 考査まで	Unit 9 国際関係	・バングラデシュの縫製業の賃金不払い、JICAの外国人労働者支援活動、途上国におけるものづくりに関する記事を読み、先進国と途上国の連携の可能性について考える。
	Unit 10 気候変動	・昆虫の数の激減、記録的な高潮被害、古着を用いた代替航空燃料に関する記事を読み、深刻な気候変動の現状を知り、その解決方法を考える。
評価方法	<p>【知識及び技能】 授業中の発表・ペアワーク・小テスト・定期考査・パフォーマンステストで評価する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 授業中の発表・ペアワーク・小テスト・定期考査・パフォーマンステストで評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度・授業中の発表・ペアワーク・ノートやプリントの整理状況で評価する。</p>	

令和6年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
情報	情報探究	3	英語系 人文系 医療看護系 理数系	必修	1
使用教科書 副教材等	情報探究 令和6年度版 (愛媛県立松山中央高等学校 情報科)				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 情報技術やデジタルリテラシーへの理解を深め情報を扱う能力を向上させる。 プログラミングの構文を学ぶことで、アルゴリズム的思考や問題解決能力を養う。 オンラインセキュリティの基本的な概念を理解し、法的な規制や倫理について学ぶ。 				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 末 考 査 ま で	<p>プログラミング アルゴリズムとその表記 プログラミングの方法</p> <p>配列と関数 探索と並び替え</p> <p>デジタル 2進数と情報量 演算の仕組み メディアのデジタル化</p> <p>コンピュータの仕組み</p> <p>ネットワーク 情報通信の取り決め</p> <p>Webページとメールの仕組み</p> <p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> アルゴリズムをフローチャートなどの図で表現できる。 変数を使用した選択構造や反復構造の簡単なプログラムを作成できる。 配列を使用して反復構造等のプログラムを理解している。 探索および整列のプログラムを理解している。 情報量を適切な単位で表現したり、変換したりできる。 論理回路による演算の仕組みについて理解している。 数値・文字・音声・画像の情報を目的に応じて適切にデジタルで表現できる。 コンピュータの計算の仕組みについて、順序だてて説明することができる。 インターネット通信の階層構造、各プロトコルの働きについて説明することができる。 WWWや電子メールなど、インターネットのサービスの内容と仕組みを説明することができる。 デジタル署名、電子認証などに応用されている暗号化の方式と仕組みについて説明することができる。
二学期末 末 考 査 ま で	<p>データの扱い データの収集と整理</p> <p>関数とグラフ</p> <p>リレーショナルデータベース</p> <p>モデル化とシミュレーション モデル化の手順</p> <p>動的モデルのシミュレーション</p> <p>確率的モデルのシミュレーション</p> <p>総合演習問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> データの種類と尺度水準について理解し、収集したデータを整理することができる。 グラフの種類や機能を理解し、表計算ソフトウェアを用いてデータをグラフ化することができる。 データベースの意味と必要性を理解し、リレーショナルデータベースの機能について説明することができる。 問題を整理したり、構造を明らかにしたりするために、モデルを作成することができる。 動的に変化する現象について、図的モデルや数式モデルで表すことができる。 確率的モデルをコンピュータでシミュレーションする方法を説明することができる。 既習事項が定着している。
1月 末 ま で	総合演習問題	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項が定着している。
評価 方 法	<p>【知識・技能】：定期考査で評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】：定期考査で評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】：授業態度、授業内容の理解、副教材の整理状況等で評価する。</p>	